**「３がい・７がい（）」**

**たたき（）**

10　との・（）

１　の

（１）の

・　において、によるやによるののや、においてもがいのにしたがわれるよう、にしきかけます。

11　・のの

《と》

・　・にえて、４５に「によるのびびににるのにする」（・）がされ、がいのあるによるの・、がいのにしたなどにするをにすることがめられています。

　　　そのため、がいのにした（）ののやののほか、がいのにしたのやの・をい、がいのあるががいのないとにのをられるようにのをることがです。

　　　また、がのをつであることについて、くへのをめるほか、をするためになをうがあります。

《》

　・　（）のにより、のにりむとともに、やの、にづくをすることで、がいのあるのをしとをします。

また、にづき、としてのののにするをし、にがいのあるがあらゆるでをできるのをします。

（１）におけるの

【の】

・　（）のにより、がいのあるがにを・できるよう、のにりむことがです。

【】

●　の

　・　（）のによるもがいやすいをしたをします。

　・　がいのあるののにおけるをするため、にするにめ、やのをります。

・　がいのあるやそのからののにするをするがい をし、のびののをります。

（２）の

【の】

・　がいのあるののげとなるをして、がいのにわらず、てのがみんなでするらしやすいのをにのにするのをめることがです。

【】

●　の

・　がいやがいのあるへのがまるよう、や（）、（）などのなをし、ののをります。

・　がいのあるや、の、となるへしいをわかりやすくえるため、をし、、としたのみづくりをめます。

●　の

・　がいのあるにするなど、がりやすいのをめます。

・　、、、、・、、がいのにじたののため、ののをするほか、がいやすいのにめます。

・　のや、やでのがなでも、なをできるをするため、のをします。

●　の

・　やのの・、ののため、のにがいのあるにをします。

・　やによるのや、「ほっかいどう」の・のやへの（）のなどにより、のやになをします。

・ がするについて、に、や、がいのにしたをうようきかけます。

・　がいのにじたながあることについて、のやをります。

●　のの

・　、、（）、（）、ろう・、け、の・については、、がそれぞれのをったでとし、ののをります。

・　にし、がいのにじたのびのについてきかけます。

・　がいのあるのをするため、やとし、、のやのなどをり、そのとなるのにめます。

（３）としてのの

【の】

・　にがであることをくしていただくことやをするのにりむことにより、これらをめ、をいやすいのをににづくのをめることがです。

【】

●　の

・　がのであることについて、やのなをじてし、のやをります。

・　として、へののにより、・のにをるのにめます。

・ 、などのにして、がのであることについてのなどをいます。

・ けに（）をしたをするなど、がくをするをけます。

・ をにしたのにより、がしてをいるようりみます。

●　をするの

・　として、にがいのあるが、からもめてをするをします。

12　にえたの

【と】

　・　のまちづくりにえ、においても「、のののにする」などのがんでいますが、・といったのなどをまえ、もがでにできるのまちづくりをし、まいや、、などのをるがあります。

　　　また、がいのあるがにおいて、・してすることができるよう、・のをるがあります。

【え】

・　がいのあるもないも、すべてのがにおいて、にできるよう、まいから、まちなかまでし、でなのと・をします。

（１）まい・まちづくりの

【の】

・　がいのあるのとをし、もがでらしやすいのをするため、がいのあるがしてできるまいの、のをするとともに、がいのあるにしたのまちづくりのがです。

【】

●　まいの

　・　がいのあるののまりやにより、されたへのがしていることから、のやとのにしながらにおけるのをめます。

　・ がいのあるがみれたやでしてらしけることができるよう、ととのにより、におけるにするのをります。

・　がいやがいのあるにするのなどにめ、がいのあるが、ににできるようします。

　・　がいのあるののをめるため、やのすりなどののをします。

　●　のまちづくりの

　・　くのがする、などなにおいてのまちづくりにづき、がいのあるにしたのをします。

・　のまちづくりなどにづき、がいのあるをはじめ、もがでにできるのまちづくりをにするため、や、、などがにもしやすいものとなるよう、、などへのや、にめるとともに、のまちづくりにおいて、、、、、、、などのいのととなってのまちづくりにみます。

・　のまちづくりのやまちづくりのなどにより、なでななど、わかりやすいのをります。

　・　や、について、がいのにしたなをめるため、のをしへのをいます。

　・　がいのあるが、やなどのをして、や、などをにできるよう、のにめます。

（２）・のの

【の】

・　のにまらず、がいのあるのなにするため、のやのなどをすることがです。

【】

●　の

　・　のについては、のまちづくりにったがわれるようにきかけるとともに、がいのあるがをにできるよう、ののについてきかけます。

　・　をするでがいのがいのあるのをするため、にづくやにする（・、）をします。

●　のの

　・　にがいのあるやいすなどののげとなるのやのなどについて、とのにより、・にめます。

・　でなができるよう、によるをします。

・　、、をとした、のにめます。

●　への

・　がいのあるなどがになどをしむことができるよう、のまちづくりにったののやをするとともに、がいのあるのそれぞれのがいにされたやなどののにめます。

（３）・の

【の】

・　がいのあるがでしてらすためには、から、やのによるのなどにでき、なときにそのがいのにじたながけられるのづくりをめることがです。

【】

●　におけるの

・　におけるがいのあるのののにけ、がされ、ののがむよう、がした「における・がいののき」などにより、のやのをします。

・　にして、におけるがいのあるへのやなどをりまとめた「のがいの」や「がいのあるへのとのための」ののをり、やのにおけるがいのあるへののにめます。

・　がいのあるがにおいて、がいにじたをけしてできるよう、におけるのをするとともに、その・になのやによるのであるやをうことをとした「（）」によるのへのをいます。

・　がいのあるへなの・をかつにえるよう、のをるため、にする・のにめます。

● によるのづくりの

・　がいのある、、などがにえいながららすことができるのづくりをするとともに、をしてできるようのをりながら、がいのあるがなをけられるのづくりをします。

・　がいのためのななどが、などにわないよう、とのによるのにめます。

・　したがいのあるのには、にへのがながあることから、とのにおけるをっていきます。

・　がいのあるへのなやなどをさせながら、やのにおけるづくりをめます。

また、にえたについては、「」をまえ、づくりをめます。

・　に、がいのあるののににし、におけるのをするため、でにするをう「（）」をするとともに、なをすることをに、による「」をします。

● などにするのの

・　がした「におけるののき」をし、におけるのをめます。

・　とのでした「におけるの」にづき、におけるののや、などへの・をっていきます。

　　　また、のにしても、において、できる・のをできるよう、ののについてきかけます。

・　をするがいのあるがしてできるように、にるのためのやにるのにするのをするとともに、やとしのにめます。

・　にするにおいて、ののについてするとともに、のにより、そののにしてなのや、やの、のについてし、なをじていないにしては、がられるようします。

・　ににおいて、からのをし、とまんのをします。また、のにより、なをじているかをし、なをじていないにしては、がられるようします。

・　において、ののなど、にをじるがあるに、（）のにるをし、やのをいます。

・　でがわれるがした、のやをするため、やかにをするなどし、のやをいます。

・　のがのにし、がしたに、をするをし、ができるようします。

・　のやのをまえ、にしやについてをいます。

また、として、におけるやのになについての・・をあらかじめするとともに、、、がした・の・をします。